



町内会だより

第162号 2015. 12. 25
東栄今本町内会連合会
編集 総務・広報常任委員会
電話番号 97-8644

豊かで明るい 安心・安全な地域づくり

(防災防犯活動の推進と環境美化の確立)

—たがいに助け合い、協力し合って地域の輪を広げよう—

世帯及び人口 (市民課資料)
(平成 27 年 11 月末)

東栄町 2781 世帯 6888 人
今本町 1762 世帯 3823 人

◎ 防災訓練、我が家が一番、自宅が一番

11月15日(日)午後1時～16日(月)午前8時

右アンケートは参加者の半数以下のサンプルですが、今後必要と思われる訓練として**家具の固定と情報発信、自宅避難**に関心が高いことが判りました。

今年の夏の茨城洪水災害での避難所が、最近閉じられたそうです。が 40 人程の方が帰る家がなく、指定の宿泊施設に移って生活されているとのこと。当地区では、災害に見舞われて、雨風をしのげる建物が一切無くなることは考えにくい。茨城では、災害で居住に適さない自宅になったとしても、被災後自宅にもどり着の身着のままの生活をしている方が多いといひます。

不便でも、自宅が一番なのでしょう。

電気、水道、ガスが止まると、炊事・トイレ・睡眠が不便となります。『食う・出す・寝る』は今回の防災訓練のキーワードでした。自宅避難となった場合、まずご近所と協力して急場をしのぐ。行政の支援が来るまでの間、一緒にケガ人の手当て、残った材料や備蓄から食事の準備、あとの始末などがしばらく続くこととなります。

行政が機能回復して避難所が開設され、支援が始まる。行政支援と避難所と自宅非難。これらの間の発信と伝達、行動の方法はどうするか。例えば備蓄が途絶えた自宅避難者は食糧支援をどこに求めたらいいのか。行政はこの求めにどのように答えられるか。まだまだこれからです。

私たちが生活するこの地は、自然災害の少ない所と思ひ込んでいる人は、真剣に考えてください。絶対の安全安心は絶対ありえないのです。防災訓練を通じて様々な体験を積み、自分たちに何が不足しているのか。まずは家具の固定など、皆で考え、すぐ行動する時です。

◎ 選挙管理委員会より

12 月はじめの告示により、今本町内会長及び東栄・今本の評議員改選について立候補の受付をしたところ、申し出がありませんでした。このため、関係各ブロックでの推薦候補者の人選をお願いしたところ、候補者が決定いたしました。1 月 17 日の組長連絡会、及び 1 月 25 日の『町内会だより』で公表します。

◎ お知らせ

町内会、年末年始の休業

12月26日(土)～1月3日(日)

組長連絡会開催

1月17日(日)10時～ 今村公会堂

2 月に開催予定の各組総会で検討・決めていただく内容の説明、資料を配布します。

各組長さんは、万障繰り合わせて出席下さい。

欠席の場合は、代理の出席をお願いします。

防災訓練アンケート報告

	参加者数	回答者数	(回答率)
今村公会堂	253 人	140 人	(55%)
東栄コミセン	145 人	55 人	(38%)
今本コミセン	144 人	54 人	(38%)
計	542 人	249 人	(46%)

(年代別)

10代	1 人
20代	1 人
30代	24 人
40代	19 人
50代	66 人
60代	32 人
70代	96 人
不明	10 人
計	249 人

(男女別)

男	129 人
女	97 人
不明	23 人
計	249 人

(世代) (良かった訓練) (今後必要な訓練)

30代	簡易トイレ	情報発信、在宅非難
40代	簡易トイレ	情報発信
50代	ケガの手当て 簡易トイレ	家具転倒、情報発信
60代	毛布担架、簡易トイレ	家具転倒、情報発信
70代	ケガの手当て 簡易トイレ	在宅避難、家具転倒

町内会の時間組立の不備と時間制約により、今本コミセンと今村公会堂のみ、市民トリアージについて講演となりました。不幸にしてケガをしたとき、いのちの視点から厳然とした予備判別をしなければならない、現実を学びました。この講演は特筆すべき良かった訓練となりました。

◎ 星の子子ども会

子ども会便り

東栄星の子子ども会では、毎月曙公園と今東公園の掃除や草取りを行っています。

暑さ寒さも関係なく、積極的に取り組む子どもたちに世話人一同助けられています。

12月はお楽しみ会を行う予定です。

